

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この説明書では、安全注意事項を「注意」として表記してあります。



注意

回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のみの発生するおそれがある場合を示します。

なお、**注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

● お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

⊘ してはいけない内容です。

❗ 実行しなければならない内容です。

施工上のご注意



ガラス面に強い衝撃を与えないでください。ガラスの落下やガラスが割れかけの原因になります。

ドアの取付面に凹凸がある製品には使用しないでください。所定の IP 性能が得られないおそれがあります。

下記の性能上、使用に適さない場所、または雰囲気の中で使用しないでください。破損・変形の原因になります。

項目	性能	項目	性能	項目	性能
弱酸	○	アルコール	○	シンナー	×
強酸	×	ベンジン	×	四塩化炭素	×
弱アルカリ	○	ガソリン	×	切削油	×
強アルカリ	○	灯油	×	有機溶剤	×

○：実用に耐える
×：使用に適さない（ヒビが発生するおそれがあります）
薬品、油の種類や設置場所の環境条件により差が生じる場合があります。使用の際は必ず使用目的に沿った実用試験にて性能を確認してから使用してください。

再塗装やドア交換などでドアをボデーから取外した状態で、検針窓を取付け、取外しを行う場合は、床面に寝かせて行ってください。ガラス窓が落下しけがの原因になります。



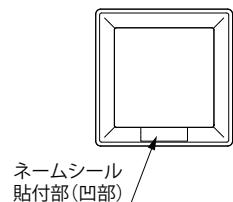
ドアを取付けた状態で検針窓の取外し、取付けを行う場合は、検針窓を外側より支え、ガラス窓を内側より保持してください。ガラス窓が落下しけがの原因になります。



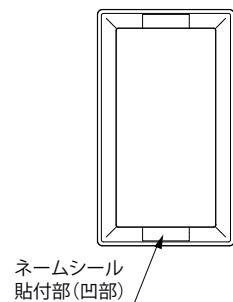
使用するねじは指定されたものを使用してください。取付けに際して、ねじを適正トルクにて締付けてください。ねじの締付けが不十分な場合、落下・破損・所定の IP 性能が得られないなどの原因になります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M4	1.5 ~ 2.0

仕様



検針窓 (小)



検針窓 (大)

● 検針窓に関連する付属品

名称	数量
ネームシール※	検針窓の数と同じ
取扱説明書 (本紙)	1部

※ネームシールは文字を記入後、凹部に貼付けて使用してください。文字を記入する際は、黒色の不減インクでの記入をおすすめします。

取外し方法

1. 検針窓からプラホルダーセットを取外してください。(図 1)
2. 取付ける際は、取外しと逆の手順にて取付けてください。(図 2)

ご注意 検針窓(小)は4点止め、検針窓(大)は6点止めになります。

仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。また、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。この説明書の内容は2014年8月現在のものです。

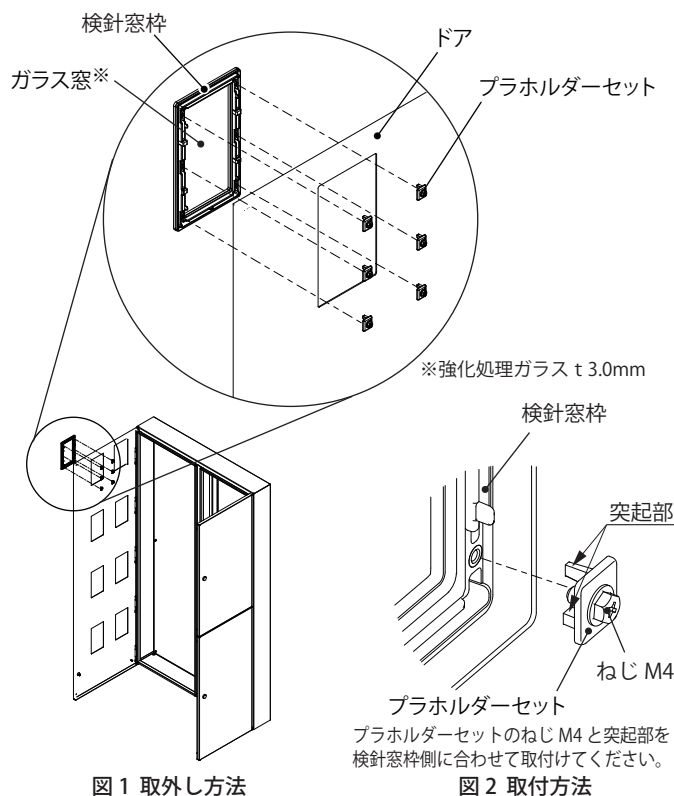


図 1 取外し方法

図 2 取付方法